

資料6-1

取扱注意

平成 31 年 度

地方創生の取組概要

説 明 資 料

子ども・子育て支援関係分 抜粋

主要手段 A02 人々が豊岡の「豊かな暮らし」を楽しんでいる（高付加価値・成熟化・多様性）

3 事業主体
豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

1,349 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【環境経済課】（内線 2301）

戦略・手段	A 02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている		
No.27 事業名	子育て中の女性の就労促進	31 年度 予算額	3,495 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

○ 子育てをしながら、自分らしくいきいきと働く女性が増えている。

《事業目的（趣旨）》

○ 人材不足に悩む市内の事業所に対し、子育て中の女性にとって働きやすい職場環境の整備を促すとともに、働きたいが働けていない子育て中の女性の就労を促す。このことにより、働きたい女性の願いを叶え、子育てに関する経済的なハードルを下げるとともに、若い女性に「子育てをしながら、自分らしくいきいきと働く」ロールモデルを示す。

1 事業内容

(1) 子育て中の女性向けワークショップ

「子育てをしながら働く」ということを具体的にイメージし、実行に繋がられるようなワークショップを開催する。

(2) 事業所へのプチ勤務導入促進

子育て等で時間制約のある方でも働きやすい「プチ勤務」の導入を市内事業所に勧める。

<参考>プチ勤務…1日2・3時間～、週1日～といった、超短時間勤務のこと

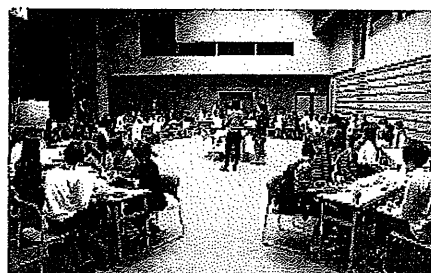
(3) お仕事大相談会の開催

子育て中の女性とプチ勤務導入事業所の、働き方の相談の場を設ける。

2 事業期間

2018（平成 30）年度～2022（平成 34）年度

3 事業主体
豊岡市



子育て・お仕事大相談会の様子 (H30. 10. 22)

主要手段 A02 人々が豊岡の「豊かな暮らし」を楽しんでいる（高付加価値・成熟化・多様性）

4 予算額（補助率・負担率等）

3,495千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2）

担当課名【環境経済課】（内線 2313）

戦略・手段	A 02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている		
No.28	事業名	内発型産業育成 I (チャレンジ応援のしくみ新設)	31年度 予算額	12,361 千円 新規

《目指す将来像（姿）》

- 新たな事業や経営革新に取り組む意欲がまちに広がり、地域内で相乗効果が生まれ、市内企業が成長する環境が作られている。また、新たな事業に挑戦する若者や女性が増え、地域経済の担い手として活躍している。

《事業目的（趣旨）》

- 成長を目指す企業、創業に取り組む若者や女性を支援することにより、地域経済を活性化させる。

1 事業内容

(1) チャレンジ応援のしくみ新設

コワーキングスペース「FLAP TOYOOKA（フラップ トヨカ）」に、ビジネスに関する総合相談機能を新設し、中小企業等のチャレンジを応援する。

(2) 内容

- ア 相談員を配置して相談業務を行う。
- イ 初年度は月4日程度の相談日を設定し、新たな事業に取り組む意欲のある中小企業者や、起業を考えている若者や女性のスタートアップを重点支援する。
- ウ 専門分野については、外部アドバイザーも活用して支援を行う。
- エ 支援にあたっては、商工団体（豊岡商工会議所、豊岡市商工会）や金融機関などと連携し、市補助制度（ステップアップ支援事業・創業支援事業）や国県補助制度を有効活用する。

2 事業期間

2019（平成31）年度～2021（平成33）年度

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

12,361千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2）

【主要手段 A02】 人々が豊岡の「豊かな暮らし」を楽しんでいる（高付加価値・成熟化・多様性）

具体的 手 段	A 02-04	多様な生き方に応じた居場所と出 番が増えている	31 年度 予算額	25,960 千円
------------	------------	----------------------------	--------------	-----------

【対象事業一覧】

事業№	事業名	予算額	区分(新規・拡大・継続)
31	ジェンダーギャップ解消推進	7,262 千円	新規
32	ワークイノベーション推進	10,270 千円	拡大
33	保育士等確保推進	8,428 千円	継続
重複	(No.27)子育て中の女性の就労促進	(3,495 千円)	継続
合計		25,960 千円	

※重複は合計から除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

戦略・手段	A 02-04	多様な生き方に応じた居場所と出番が増えている		
No.31 事業名	ジェンダーギャップ解消推進	31 年度 予算額	7,262 千円	新規

《目指す将来像（姿）》

- 多様性を受け入れ、支え合うリベラルなまちづくりを進めるにあたり、現時点で最大の課題と考えられるジェンダーギャップ（性別に基づき定められた社会的属性、機会等の格差）が解消されている。

《事業目的（趣旨）》

- 職場等におけるジェンダーギャップの現状等を市民と共有し、ジェンダーギャップ解消のための対策を講じる。

1 事業内容

(1) シンポジウムの実施

- ア 日程：2019（平成 31）年 5 月中旬（予定）
- イ 場所：豊岡市民プラザ ほっとステージ（予定）
- ウ 対象：市民（特に、市内事業所・市役所・小中学校の管理職等）
- エ 内容：講演とパネルディスカッション

(2) ジェンダーギャップ解消のための戦略策定に向けた意識調査等の実施

- ア アドバイザー設置
- イ 市民への意識調査の実施
- ウ 2020（平成 32）年度～ ジェンダーギャップ解消のための戦略策定

主要手段 A02 人々が豊岡の「豊かな暮らし」を楽しんでいる（高付加価値・成熟化・多様性）

2 事業期間

2019（平成 31）年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

7,262 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【政策調整課】（内線 2083）

戦略・手段	A-02-04	多様な生き方に応じた居場所と出番が増えている		
No.32 事業名	ワークイノベーション推進	31年度 予算額	10,270 千円	拡大

《目指す将来像（姿）》

○ ありたい姿に向かって、いきいきと働く女性が増えている。

《事業目的（趣旨）》

○ 女性も働きやすく、働きがいを感じる事業所を増やすことを通じた職場のジェンダーギャップ解消と、これを切り口としたまち全体のジェンダーギャップの解消を目指す。

また、この戦略の推進を始めとした「多様性を受け入れ、支え合うリベラルなまちづくり」を進めることにより、若い女性のUIターンの増加につなげる。

1 事業内容

(1) 市民の理解拡大、経営者の認識向上

ジェンダーギャップの解消に取り組む理由、女性にとって働きやすく働きがいがある職場の事例やそのメリット、取組みの進捗状況等を伝える。

(2) 経営者の意識改革

ワークショップ、事例共有会を開催する。

希望する事業所には、従業員アンケートの実施を支援する。

(3) 人事担当者の意識改革・改善手法検討

ワークショップ、事例共有会を開催する。

(4) 管理職、従業員の意識・行動改革、女性従業員のキャリア形成支援

演劇的手法等を用いたワークショップを開催する。

(5) 先進事業所の可視化と他の事業所への波及

主要手段 A02 人々が豊岡の「豊かな暮らし」を楽しんでいる（高付加価値・成熟化・多様性）

女性の働きやすさ、働きがいがある一定水準に達している事業所の審査・表彰制度を検討する。

2 事業期間

2018（平成 30）年度～2027（平成 39）年度

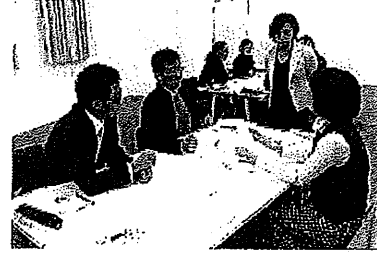
3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

10,270 千円

（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）



人事担当者向けワークショップの様子（H31.1.28）

担当課名【UI ターン戦略室】（内線 2313）

戦略・手段	A 02-04	多様な生き方に応じた居場所と出番が増えている		
No.33 事業名	保育士等確保推進	31 年度 予算額	8,428 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 市内保育所等の「働きがい」や「働きやすさ」が高まり、保育士として働いている人が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 保育ニーズの高まりにより待機児童が増加している中、平成 31（2019）年 10 月から実施される予定の幼児教育無償化により、さらに大幅に保育の需要が増加することが見込まれることから、保育士等の確保対策などを早急に検討し、待機児童解消を推進する。

1 事業内容

待機児童解消対策の最優先課題である保育士等の確保を推進するため、保育所等を「働きやすい職場」、「働きたい職場」として魅力を高める業務改善策を 2 か所のモデル園において試行し、効果的な施策をとりまとめて市内全園に広げる。

- (1) 業務の効率化施策の検証（ICT の活用、事務のシステム化等）
- (2) 短時間勤務者・保育補助者の受入れによるワークシェアの検証
- (3) 配置人数と就労時間の適正化の検証
- (4) 幼児教育・保育の専門家の指導による質の高い教育・保育の実践研修
- (5) 質の高い幼児教育・保育の展開と両立する業務効率化施策の検証

2 事業期間

2018（平成 30）年度～2019（平成 31）年度

主要手段 A02 人々が豊岡の「豊かな暮らし」を楽しんでいる（高付加価値・成熟化・多様性）

3 事業主体
豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）
8,428 千円（ひょうご地域創生交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【こども育成課幼保政策室】（内線 2552）

主要手段 A04 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている（次世代育成）

具体的 手段	A 04-01	子どもたちが豊岡のことをよく知 っている	31年度 予算額	15,733 千円
-----------	------------	-------------------------	-------------	-----------

【対象事業一覧】

事業№	事業名	予算額	区分(新規・拡大・継続)
53	おっとりっしゃ！とよおかのものづくり	400 千円	継続
54	ふるさと教育推進	3,868 千円	継続
55	子どもの野生復帰	10,000 千円	継続
56	高校生Uターン意識向上戦略	1,465 千円	継続
合計		15,733 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

戦略・手段	A 04-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている		
No.53 事業名	おっとりっしゃ！とよおかの ものづくり	31年度 予算額	400 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 市内のものづくり企業の優れた技術や成長性などが知られ、若者が地元を誇りを持ち、市内の企業で働きたいと考えている。

《事業目的（趣旨）》

- 子ども対象のものづくり体験等を通じ、ものづくりの楽しさや企業に対する興味を持たせ、将来ものづくりに携わる人材の育成につなげる。また、同行の保護者や一般市民に対して、市内ものづくり企業の優れた技術・成長性などを紹介し、市内企業が若者の働く場所となり得ることに対する市民の理解を促進する。

1 事業内容

豊岡市工業会が開催する「おっとりっしゃ！とよおかのものづくり」に係る事業費について一部補助を行う。主な事業は以下の通り。

- (1) 子ども向けのものづくり体験教室
- (2) 市内企業の製品・技術の紹介を行う企業展示
- (3) ものづくりへの興味を持つような特別展示等を含むイベントの開催

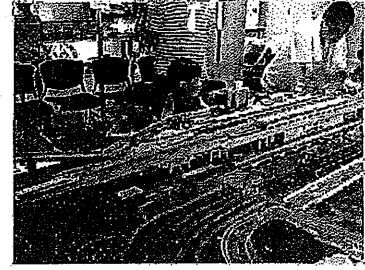
2 事業期間

2014（平成26）年度～

主要手段 A04 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている（次世代育成）

3 事業主体
豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）
400 千円



担当課名【環境経済課】（内線 2313）

戦略・手段	A-04-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている		
No.54 事業名	ふるさと教育推進	31年度 予算額	3,868 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

○ ふるさと豊岡と未来の自分について考え、行動できる力を身につけた子どもたちが、ふるさとに愛着と誇りを持ちながら豊岡で夢を実現することや、豊岡に軸足を置き世界規模で物事を考えられている。

《事業目的（趣旨）》

○ 一人一人の子どもの夢実現力を高め、小さな世界都市を目指す豊岡の未来を創造する子どもを育成する。このため、系統性と一貫性のあるカリキュラムで実践する「ローカル&グローバル学習の時間」において、「コウノトリ」「ジオパーク」「産業・文化」を共通の学習テーマに位置づけ、豊岡の「ひと・もの・こと」に学び、ふるさと豊岡を自分の言葉で語り誇れる力を育成する。

1 事業内容

- (1) 現地に出向いたり、地域の人とかかわったりして、体験的な活動を行い、豊岡の「ひと・もの・こと」を学習素材とした探究的な学習に取り組む。
- (2) 「ふるさと学習ガイドブック」、DVD「豊岡ふるさと学習、山陰海岸ジオパーク」、DVD「コウノトリと共に生きる」等の映像資料の効果的な活用について実践を積み重ねる。
- (3) 但東中学3年生が、修学旅行で東京にある豊岡市アンテナショップ「コウノトリの恵み豊岡」内で市の特産品を販売し、ふるさと豊岡をPRする。

主要手段 A04 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている（次世代育成）

2 事業期間
2017（平成 29）年度～

3 事業主体
豊岡市

4 予算額
3,868 千円



但東中学 3 年生による「MISSION IN TOKYO」

担当課名【こども教育課】（内線 2721）

戦略・手段	A 04-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている		
No.55 事業名	子どもの野生復帰		31 年度 予算額	10,000 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

○ 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている。

《事業目的（趣旨）》

○ 自然体験によって醸成される心身の鍛錬・躍動、磨かれる感性、地域への愛着、共生の精神をより深め、地域の自然・文化・伝統を学ぶ、豊岡のフィールドでの野外体験プログラムを実施し、ふるさと豊岡を愛し、夢の実現に向け挑戦する子どもたちを育成する。

1 事業内容

「キッズワイルド 2019」を実施する。

(1) 実施プログラム内容

- ア 周年型体験プログラム／四季型の通年体験
- イ 単発型体験プログラム／短期集中型の体験
- ウ 成人対象体験プログラム／指導者養成のための体験・学習活動

(2) 対 象

市内の小学生、中学生、高校生、成人

(3) 実施期間

2019（平成 31）年 5 月
～2020（平成 32）年 3 月

2 事業期間

2019（平成 31）年度



主要手段 A04 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている（次世代育成）

3 事業主体
豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）
10,000 千円（ひょうご地域創生交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【生涯学習課】（内線 2741）

戦略・手段	A 04-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている		
No.56 事業名	高校生 U ターン意識向上戦略	31 年度 予算額	1,465 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 豊岡の暮らしの魅力や価値、やりがいのある仕事を見せることで、将来、U ターンしたいと思う高校生が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 豊岡を知ること、豊岡を好きになり、将来的な U ターンへの意識を向上させる。市内の各高校で、「豊岡」についての探究授業やキャリア教育を行う。

1 事業内容

- (1) 豊岡高校：探究授業「未来からの挑戦状」の実施
T-Discovery Tour や未来からの挑戦状など、探究授業のサポートを実施。
- (2) 近畿大学附属豊岡高校：ダンスを通じたまちの探究授業の実施
“まち”を知る探究授業「豊岡学」として、コウノトリや永楽館など、まちにある資源をリサーチして、ダンスを創作する授業を（一社）Danstork の協力で実施。
- (3) 豊岡総合高校：おしごとカフェの開催
高校生の希望する職業を知るブース展示やトークショーを実施。
- (4) 出石高校：企業見学ツアーの実施
市内企業の魅力を知る企業見学バスツアーを実施。
- (5) その他：市長による講話や外部講師によるキャリア教育授業を実施

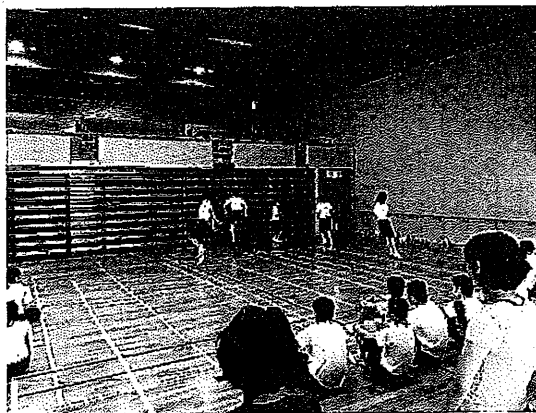
2 事業期間

2017（平成 29）年度～

主要手段 A04 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている（次世代育成）

3 事業主体
豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）
1,465 千円



地域の資源をリサーチして創作ダンスとして発表

担当課名【環境経済課】（内線 2313）

主要手段 A04 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている（次世代育成）

具体的 手 段	A 04-02	子どもたちが様々なコミュニティ の中で役割を果たしている	31年度 予算額	— 千円
------------	------------	---------------------------------	-------------	------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・拡大・継続)
重複	(No.54) ふるさと教育推進	(3,868 千円)	継続
合 計		—	

※重複の予算額は除く

【主要手段 A04】 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている（次世代育成）

具体的 手 段	A 04-03	子どもたちが豊岡で外国人とのコ ミュニケーションを楽しんでいる	31 年度 予算額	49,635 千円
------------	------------	------------------------------------	--------------	-----------

【対象事業一覧】

事業№	事業名	予算額	区分(新規・拡大・継続)
57	コミュニケーション教育推進	1,142 千円	継続
58	英語教育推進	33,748 千円	継続
59	英語遊び保育推進	12,145 千円	継続
60	豊岡の未来を創る高校生支援	2,600 千円	継続
合計		49,635 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

戦略・手段	A 04-03	子どもたちが豊岡で外国人とのコミュニケーションを楽しんでいる		
No.57 事業名	コミュニケーション教育推進	31 年度 予算額	1,142 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 子どもたちが、国際化社会に対応したグローバルコミュニケーションスキル（異文化理解能力）を獲得し、対等な関係の中での自己主張と他者理解によって外国人等様々な人々と積極的に関わっている。

《事業目的（趣旨）》

- 国際化社会に対応したグローバルコミュニケーションスキルの獲得を見据え、性別や年代を超えて、対等な関係の中で自分を主張し、また他者を理解できる基礎的なコミュニケーション能力を育成する。ローカルな町である豊岡でグローバル社会に対応できるコミュニケーション教育を、豊岡にいるからこそ受けることができる特色ある教育として行い、その魅力により若い世代の定住促進・I ターンの増加を図り、地域活性化を推進する。

1 事業内容

- (1) すべての小学校6年生と中学校1年生において、演劇的手法を取り入れたワークショップ型、双方向型のアクティブラーニングを用いて体験的に学ぶ総合的な取組を行う。
- (2) すべての学年において、コミュニケーション能力の育成の視点を取り入れた関

主要手段 A04 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている（次世代育成）

わりを土台にしながら日常生活や学習における指導を行い、コミュニケーション能力の育成を図る。

また、外部講師を招聘し、指導方法等について指導を受け、授業の充実を図る。

2 事業期間

2015（平成 27）年度～

3 事業主体

豊岡市



4 予算額（補助率・負担率等）

1,142 千円

担当課名【こども教育課】（内線 2721）

戦略・手段	A 04-03	子どもたちが豊岡で外国人とのコミュニケーションを楽しんでいる		
No.58 事業名	英語教育推進	31 年度 予算額	33,748 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

○ ふるさとのこと、自分のことを英語で語ることのできる子どもが育っている。

《事業目的（趣旨）》

○ 豊岡市小中一貫教育の柱の一つとして、小学校 1 年生から外国語指導助手のネイティブな発音に触れる機会を通して、英語遊びから外国語活動、外国語（英語）科へと 9 年間の系統性と連続性のある学習で、英語でふるさとのこと、自分のことを語る力を高める。

1 事業内容

(1) 豊岡市英語教育カリキュラムに基づき、授業における効果的な教材活用の仕方等を交流しながら、より実践的な英語教育を実施する。

(2) 新学習指導要領完全実施（小学校：2020（平成 32）年度、中学校：2021（平成 33）年度）に向け、豊岡市英語教育推進委員会を中心に豊岡市英語教育カリキュラムの見直しと改善を継続して行う。

(3) 豊岡市立小・中学校教員の授業力の向上を図る研修会を実施する。

ア 「英語教育推進リーダー中央研修」に係る地区別研修

イ 大学と連携した英語指導力向上事業

ウ 豊岡市英語教育研修会

主要手段 A04 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている（次世代育成）

(4) すべての小学校に配置している外国語指導助手（ALT）とのチーム・ティーチングを実施し、実際の生活に活用できる英語授業等を行う。

(5) 英語遊びサマースクール（対象：小学1年生）、イングリッシュ・サマーキャンプ（対象：中学3年生）を実施する。

2 事業期間

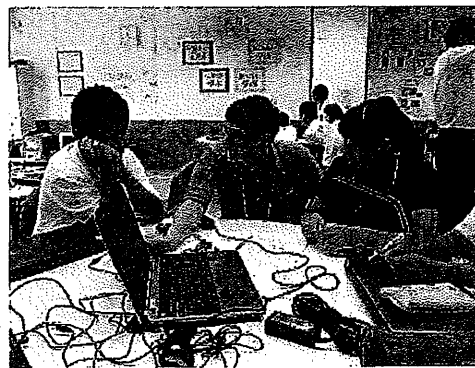
2015（平成27）年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額

33,748 千円



担当課名【こども教育課】（内線 2721）

戦略・手段	A 04-03	子どもたちが豊岡で外国人とのコミュニケーションを楽しんでいる		
No.59 事業名	英語遊び保育推進	31年度 予算額	12,145 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 外国の言葉や文化に興味を持つ子が増えている。
- 喜んで人と関わろうとする子が増えている。
- 自己肯定感を持てる子が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 将来、「小さな世界都市・豊岡」の子どもたちが世界の人々と積極的にコミュニケーションを図ろうとする気持ちや、外国の言葉や文化に興味を持とうとする気持ちの素地を養う。

1 事業内容

(1) 英語遊び指導員による英語遊び保育巡回訪問の実施

英語遊び指導員が各園を訪問し、歌やゲーム、絵本の読み聞かせなどをすべて英語で行う（オールイングリッシュ）英語遊び指導を実施する。

ア 訪問対象 市内全幼稚園・保育園・認定こども園の4・5歳児クラス
（但し、既に取り組みされているなどの一部の園を除く。）

イ 実施回数 年間15回程度
（2週間に1回程度）

ウ 時間 5歳児・40分、4歳児・30分

主要手段 A04 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている（次世代育成）

エ 指導者 英語遊び指導員 8名(予定)

- (2) 英語遊び研修会の実施
幼稚園・保育園・認定こども園職員を対象とした英語遊び研修会を開催する。
- (3) 英語遊び通信の発行
保護者及び職員向けの英語遊び通信を発行する。



英語を使ったゲームを楽しんでいる様子

2 事業期間

2015（平成 27）～2016（28）年度 6モデルでの先行実施
2017（平成 29）年度～ 市内の公・私立園で実施

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

12,145 千円

担当課名【こども育成課】（内線 2531）

戦略・手段	A 04-03	子どもたちが豊岡で外国人とのコミュニケーションを楽しんでいる		
No.60 事業名	豊岡の未来を創る高校生支援	31年度 予算額	2,600 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 小中一貫教育における「ローカル&グローバル学習の時間」（英語教育・コミュニケーション教育・ふるさと教育）を更に発展させた研修を実践することにより、ふるさと豊岡で活躍する人材が育っている。

《事業目的（趣旨）》

- 3週間の語学研修において、授業、課外活動、ホームステイ等の体験を通じた実践英語の習得、日本以外の多くの国籍の参加者との交流を通じたコミュニケーション能力の向上を図り、これらの経験を活かし、ふるさと豊岡で活躍する国際社会に対応できる人材を育成する。

1 事業内容

豊岡市が進める小中一貫教育における「ローカル&グローバル学習の時間」の取

主要手段 A04 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている（次世代育成）

組み（英語教育・コミュニケーション教育・ふるさと教育）を受け、それを発展させた高校版ローカル&グローバル教育に取り組む高等学校の生徒を対象に、カナダ・ビクトリア市が主催する語学研修への参加費用を補助する。

- 2 事業期間
2017（平成 29）年度～
- 3 事業主体
豊岡市
- 4 予算額（補助率・負担率等）
2,600 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2 以内）

担当課名【こども教育課】（内線 2721）

主要手段 A04 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている（次世代育成）

具体的 手段	A 04-04	子どもたちの想像の翼、行動の翼 が世界に羽ばたいている	31年度 予算額	7,207 千円
-----------	------------	--------------------------------	-------------	----------

【対象事業】

事業№	事業名	予算額	区分(新規・拡大・継続)
61	子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催	7,207 千円	継続
合計		7,207 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

戦略・手段	A 04-04	子どもたちの想像の翼、行動の翼が世界に羽ばたいている			
No.61	事業名	子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催	31年度 予算額	7,207 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている。

《事業目的（趣旨）》

- 子どもたちが、世界で活躍する音楽家と触れ合う機会を通じて、豊岡に居ながらにして世界とつながることができる。そんな豊岡のまちを誇りに思う子どもたちを育てる。

1 事業内容

(1) 第6回おんぷの祭典

6月4日（火）～6月9日（日）の6日間開催。出演者は、アンサンブル・ウィーン東京（4名）、シュバシコウ・カルテット（弦楽四重奏）、こうのとり・クインテット（木管五重奏）ほか。

ア 子どもたちのためのコンサート（豊岡市民プラザ）

イ 学校訪問コンサート 10 小学校

（日高・寺坂・三江・田鶴野・資母・高橋・静修・竹野・竹野南・港東）

ウ 街角コンサート 5ヶ所

（大人も楽しめる子どもたちのためのコンサート2ヶ所を含む）

エ 稽古堂イブニングコンサート（5日間連続、演奏者は日替わり、有料）

オ サロンコンサート（有料）

カ グランドフェスティバル 一日中、音楽に親しむ3部構成のコンサート

（キッズコンサート、プレミアムコンサート、ファイナルコンサート）

(2) おんぷの祭典プレコンサート

市内で活動する音楽家に発表のできる機会を提供。出演者は公募。5月26日

主要手段 A04 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている（次世代育成）

（日）豊岡稽古堂市民ギャラリーで開催。

2 事業期間

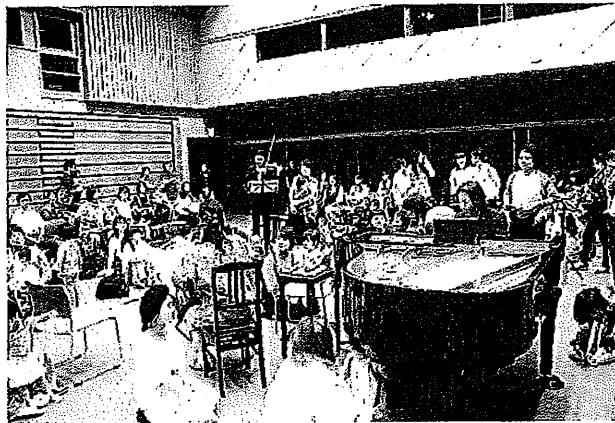
2014（平成 26）年度～2023（平成 35）年度

3 事業主体

子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭実行委員会、豊岡市、豊岡市教育委員会

4 予算額（補助率・負担率等）

7,207 千円



担当課名【生涯学習課】（内線 2741）

【主要手段 B02】 夫婦一組あたりの子どもの数が増えている

具体的 手段	B 02-01	出産への応援がある	31年度 予算額	21,774 千円
-----------	------------	-----------	-------------	-----------

【対象事業一覧】

事業No	事業名	予算額	区分(新規・拡大・継続)
7	子育て世代包括支援センター	974 千円	継続
8	産前・産後サポート事業	1,932 千円	継続
9	産後ケア事業(宿泊型、訪問型)	2,668 千円	継続
10	特定不妊治療費助成・不育症治療費助成	16,200 千円	継続
合計		21,774 千円	

【事業別の詳細(以下、事業ごとの説明)】

戦略・手段	B-02-01	出産への応援がある		
No.7 事業名	子育て世代包括支援センター	31年度 予算額	974 千円	継続

《目指す将来像(姿)》

- 安心して妊娠・出産・育児ができる環境が整っている。

《事業目的(趣旨)》

- 出産・子育てに関する不安、リスクを抱える子育て世代が増加しており、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援体制を整える必要がある。このため、「子育て世代包括支援センター」による相談体制の強化とサービス導入による支援施策の充実を図る。

1 事業内容

保健師等の専門職により、すべての妊産婦の状況を継続的に把握し、必要に応じて関係機関と協力して支援プランを作成し、サービスの提供や育児不安の解消などきめ細かい支援を実施する。

2 事業期間

2017(平成29)年度～

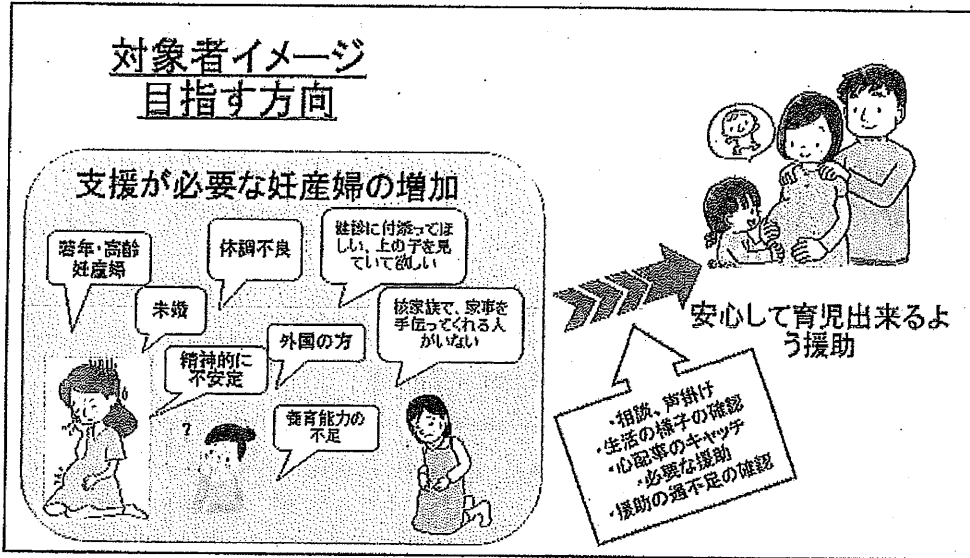
3 事業主体

豊岡市

主要手段 B02 夫婦一組あたりの子どもの数が増えている

4 予算額

974 千円 (子ども・子育て支援交付金)
 (国補助率：交付対象額の 1/3)
 (県補助率：交付対象額の 1/3)



担当課名【健康増進課】(内線 3101)

戦略・手段	B-02-01	出産への応援がある			
No.8 事業名	産前・産後サポート事業	31年度 予算額	1,932 千円	継続	

《目指す将来像(姿)》
 ○ 安心して妊娠・出産・育児ができる環境が整っている。
 《事業目的(趣旨)》
 ○ 出産・子育てに関する悩み等に対して、保健師等の専門職が不安や悩みを傾聴し、相談支援を行う。また、サポーター(ヘルパー)が家事・育児援助等を実施することにより精神及び身体の負担の軽減を図る。
 あわせて地域の母親同士の仲間づくりを促し、妊産婦が家庭や地域での孤立感を軽減し、安心して妊娠期を過ごし育児に臨めるようサポートする。

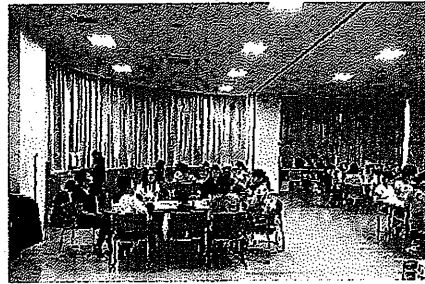
1 事業内容

- (1) 保健師等の専門職が妊産婦の居宅を訪問し、育児手技の確認および支援、不安や悩みに対しての相談を受ける。
- (2) サポーター(ヘルパー)が家事・育児援助等を実施する。
- (3) 妊産婦同士の仲間づくりを目的として、複数の妊婦や親子が参加する教室で相談やグループワークを実施する。

主要手段 B02 夫婦一組あたりの子どもの数が増えている

2 事業期間
2017（平成 29）年度～

3 事業主体
豊岡市



（マタニティーママ&ベビー交流会の様子）

4 予算額
1,932 千円
（母子保健衛生費国庫補助金 補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【健康増進課】（内線 3101）

戦略・手段	B-02-01	出産への応援がある		
No.9 事業名	産後ケア事業（宿泊型、訪問型）	31 年度 予算額	2,668 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

○ 安心して妊娠・出産・育児ができる環境が整っている。

《事業目的（趣旨）》

○ 父母、配偶者、パートナー等から十分な産後の育児支援が受けられない者の心身の安定を図るために、育児不安を解消し、産後も安心して子育てが出来る環境を整備し、安心して産後を過ごし育児に臨めるようサポートする。

1 事業内容

助産師等の専門職が母親の身体的な回復のための支援、授乳の指導及び乳房のケア、母親の不安の相談、新生児及び乳児の状況に応じた具体的な育児指導を行い不安や悩みの軽減を図る。

- (1) 宿泊型委託先 公立豊岡病院、公立八鹿病院
- (2) 訪問型委託先 在宅助産師

2 事業期間
2017（平成 29）年度～

3 事業主体
豊岡市

4 予算額
2,668 千円（母子保健衛生費国庫補助金 補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【健康増進課】（内線 3101）

主要手段 B02 夫婦一組あたりの子どもの数が増えている

戦略・手段	B02-01	出産への応援がある		
No.10 事業名	特定不妊治療費助成・不育症治療費助成	31年度 予算額	16,200 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 出産を支える仕組みが整うことにより、出生数が増加し、夫婦一組あたりの子どもの数が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 「特定不妊治療費助成事業」及び「不育症治療費助成事業」を実施し、子どもを産みやすい環境を整備し、人口減少対策につなげる。

1 事業内容

(1) 特定不妊治療費助成事業

県の助成制度に市独自の助成金を上乘せする。助成回数、助成可能年齢は県の制度に準じ、上限額1回あたり20万円を助成する。

(2) 不育症治療費助成事業

不育症の検査や治療にかかる医療費に対する助成を行う。

2 事業期間

2016（平成28）年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

16,200千円（不育症治療費助成事業費助成金 補助率：補助対象額の1/2）

担当課名【健康増進課】（内線3101）

主要手段 B02 夫婦一組あたりの子どもの数が増えている

具体的 手段	B 02-02	育児への応援がある	31年度 予算額	1,410 千円
-----------	------------	-----------	-------------	----------

【対象事業一覧】

事業№	事業名	予算額	区分(新規・拡大・継続)
11	ファミリーサポートセンター	1,410 千円	継続
重複	(No.7)子育て世代包括支援センター	(974 千円)	継続
合計		1,410 千円	

※重複は合計から除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

戦略・手段	B 02-02	育児への応援がある		
No.11 事業名	ファミリーサポートセンター	31年度 予算額	1,410 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 地域で子育て支援を行うことにより、働きながら子育てがしやすい環境をつくる。

《事業目的（趣旨）》

- ファミリーサポートセンターは、仕事の都合などで子どもの送迎や預かりの支援を受けたい保護者（おねがい会員）と、支援を行いたい者（まかせて会員）の会員組織である。

市が事務局となり、保育施設等への送迎や一時的な子どもの預かりなどを有償ボランティアの形態で会員同士が相互援助することにより、働きながら子育てがしやすい環境をつくる。

1. 事業内容

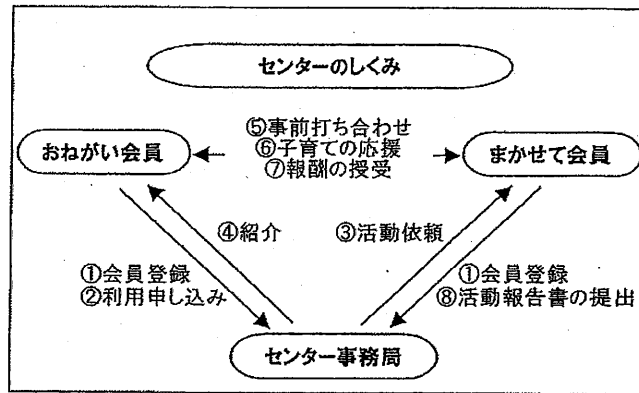
- (1) 会員同士による相互援助活動を行う。活動を円滑に進めるため専任のアドバイザーを配置し、会員のマッチングを行う。
- (2) 会員募集、会員研修、会員交流事業、会報誌の発行を行う。また、地区回覧等で事業のPRを行うとともに、更なる会員獲得のため2019（平成31）年度は交流事業を拡大する。



会員交流事業の様子

主要手段 B02 夫婦一組あたりの子どもの数が増えている

- 2 事業期間
2017（平成 29）年度～
- 3 事業主体
豊岡市
- 4 予算額（補助率・負担率等）
1,410 千円
（国補助率 基準額の 1/3）
（県補助率 基準額の 1/3）



(参考)

・会員数：158 人（2019（平成 31）年 1 月 31 日現在）

担当課名【こども育成課】（内線 2531）

主要手段 B02 夫婦一組あたりの子どもの数が増えている

具体的 手 段	B 02-03	仕事の両立への応援がある	31 年度 予算額	— 千円
------------	------------	--------------	--------------	------

【対象事業一覧】

事業№	事業名	予算額	区分(新規・拡大・継続)
重複	(No.11) ファミリーサポートセンター	(1,410 千円)	継続
合計		—	

※重複は合計から除く

主要手段 B02 夫婦一組あたりの子どもの数が増えている

具体的 手段	B 02-04	パートナーの応援(理解と協働)がある	31年度 予算額	13,350 千円
-----------	------------	--------------------	-------------	-----------

【対象事業一覧】

事業No	事業名	予算額	区分(新規・拡大・継続)
12	子育てセンターの交流事業「パパとあそぼうデー」ほか	13,350 千円	継続
合計		13,350 千円	

【事業別の詳細(以下、事業ごとの説明)】 _____

戦略・手段	B02-04	パートナーの応援(理解と協働)がある			
No.12 事業名	子育てセンターの交流事業「パパとあそぼうデー」ほか		31年度 予算額	13,350 千円	継続

《目指す将来像(姿)》
 ○ 夫婦が子育てを楽しんでいる。

《事業目的(趣旨)》
 ○ 子育てセンターで子育てに関する相談支援や親子が交流できる機会の提供などを行い、子育てにかかる不安感、負担感を軽減し、子育て家庭が子育ての楽しさを実感できるようにする。

1 事業内容

- (1) 子育てセンターで、親子の交流のほか、親子で遊べる場の常設、相談支援、情報提供、学習機会(子育て講座等)の提供など子育てに関する様々な事業を行う。
- (2) 交流事業では、父親と子どものふれあいの機会を提供するため「パパとあそぼうデー」など、父親が参加しやすい事業を実施する。

2 事業期間

2005(平成17)年度～

3 事業主体

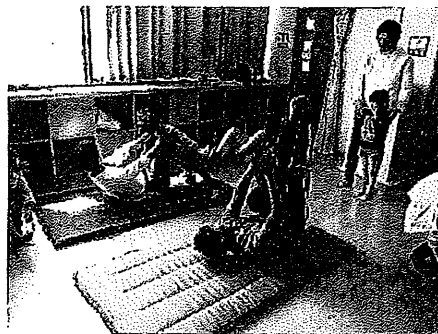
豊岡市

4 予算額(補助率・負担率等)

13,350 千円

(国補助率 基準額の1/3)

(県補助率 基準額の1/3)



パパとあそぼうデーの様子

担当課名【こども育成課】(内線 2531)

【主要手段 B02】 夫婦一組あたりの子どもの数が増えている

具体的 手段	B 02-05	まちを挙げた子育てへの応援があ る	31年度 予算額	1,632 千円
-----------	------------	----------------------	-------------	----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・拡大・継続)
13	子育て広場整備	279 千円	継続
14	FMジャングル夢チャレンジ	818 千円	継続
15	子育てママの活躍機会促進事業	535 千円	拡大
合計		1,632 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

戦略・手段	B02-05	まちを挙げた子育てへの応援がある		
No.13	事業名	子育て広場整備事業	31年度 予算額	279 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

- 小さな子どもも安心して遊べる子育て広場がまちの中心部にあり、親子が訪れている。子育て世代を身近に感じることで、市民の応援の機運が高まっている。

《事業目的（趣旨）》

- 子育て世代による子育て広場の利用促進を図るとともに、住民の手により適切に管理することで、まちの子育て応援の機運を高める。

1 事業内容

～「子育て広場」をまちの子育て応援の象徴へ～

よちよち歩きの子どもが遊びまわる！ ママもくつろいでホッとひと息。
その様子に、まちの人も目を細めて一緒に憩う…。

子育ての楽しさを実感する子育て世代と、その様子を温かいまなざしで見守るまちの人々が行き交う、そんな広場を目指します。

各地域の「子育て広場芝生化実行委員会」の協力により、豊岡地域を除く5か所の子育て広場の除草、施肥等の維持管理を行う。

また、「子育て女性活動団体へのイベント開催経費補助事業（No. 15 参照）」の開催指定場所にするなど、子育て世代の活用を促進する。

主要手段 B02 夫婦一組あたりの子どもの数が増えている

2 事業期間

2017（平成 29）年度～

※ハード整備は 2017（平成）年度
～2018（平成 30）年度

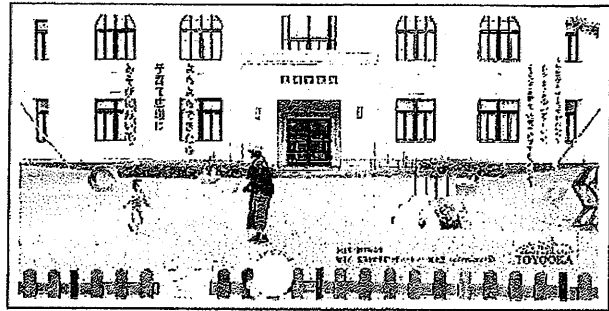
3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

279 千円

（ひょうご地域創生交付金 補助率：交付対象額の 1/2）



子育て広場案内冊子の表紙

担当課名【ハートリーフ戦略室】（内線 3511）

戦略・手段	B02-05	まちを挙げた子育てへの応援がある			
No.14 事業名	FM ジャングル夢チャレンジ	31 年度 予算額	818 千円	継続	

《目指す将来像（姿）》

- 子どもたちが夢を持ち、夢の実現に挑戦している。

《事業目的（趣旨）》

- 児童・生徒が夢や頑張っていることを広く市民に発信することで、自尊感情が高められるとともに、応援されることで自己肯定感が育まれる。

1 事業内容

- (1) なりたい自分になるため（「夢実現力」）に頑張っている子どもの様子を FM ジャングルの市政情報提供番組で取材し、放送（15 分番組：本放送毎週 1 回・再放送毎週 2 回）を行う。

2 事業期間

2008（平成 20）年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

818 千円

担当課名【こども育成課】（内線 2531）

主要手段 B02 夫婦一組あたりの子どもの数が増えている

戦略・手段	B02-05	まちを挙げた子育てへの応援がある		
No.	15	子育てママの活躍機会促進	31年度 予算額	535 千円 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 子育てをポジティブにとらえる人が増え、希望どおりの人数の子どもを持つ家庭が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 子育て中のママの「役割」や「活躍の場」を開拓するとともに、いきいきと活動する様子が市民の目に触れるようにすることにより、子育てをポジティブにとらえる意識を醸成する。

1 事業内容

(1) 「ママハタ」の派遣の場を創出

「NPO 法人ママの働き方応援隊（通称：ママハタ）」の但馬の活動拠点である「但馬校」、サテライトの「豊岡奈佐学級」と連携して、学校や地区で「赤ちゃん先生クラス」を開催する。

また、地域や企業への認知や理解を進めるため、市内のイベントなどにスタッフとして派遣する。

(2) 子育て女性活動団体へイベントの開催経費を補助【新規】

子育て中の女性で構成する活動団体が、子育て世代ならだれでも参加できるイベントを開催する際、その経費の一部を補助する。

補助の条件として「子育て広場」を活用するなど、イベント開催により「まちを挙げた子育て応援の機運を高める」ことにつなげる。

ア 補助上限 1件につき 50 千円

イ 補助率 10/10

2 事業期間

(1) 「ママハタ」の派遣 2018（平成 30）年度～

(2) イベント開催経費の補助 2019（平成 31）年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

535 千円（ひょうご地域創生交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

主要手段 B02 夫婦一組あたりの子どもの数が増えている



「赤ちゃん先生クラス」の授業風景
(ママハタの派遣事業)



親子で賑わう子育て広場でのイベント
(「ハグハグフェスタ豊岡」)

<参考>

- ・ NPO 法人ママの働き方応援隊(2007年設立、本部：神戸市)
「子育て中がメリットになる働き方を創る」をミッションに全国に活動を広める。但馬校は2015(平成27)年12月に養父市で開設。豊岡奈佐学級は2017(平成29)年5月に開設。
- ・ 赤ちゃん先生クラス
赤ちゃんを連れたママ講師が教育機関や高齢者施設などを訪問し、「学び」や「ふれあい」の授業を行う。ママ講師には謝礼が支給され、「仕事」として役割と責任を持つ。
- ・ 子育て広場
市内6か所(地域ごと)に整備した「小さな子どもが安心して遊べる芝生の広場」のこと。市役所本庁舎前の子育て広場では、子育て中の女性団体による手作りマーケットなどが開催されるなど、広場の活用が進んでいる。

担当課名【ハートリーフ戦略室】(内線 3511)

